



「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」が発足しました

10月2日（水）、新月公民館を会場に「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト発足宣言式」を開催しました。本プロジェクトの発起人であり共同代表の気仙沼商工会議所の菅原昭彦会頭と気仙沼商工会議所女性会の高橋和江会長に加え、気仙沼市長が発足宣言を行い、官民連携してジェンダーギャップ解消の取り組みを推進するため、市内企業・事業所へプロジェクトへの理解と参画を呼びかけました。

発足宣言式後には、第1回経営者向けセミナーを開催し、「経営者として感じる課題」や「目指したいゴール」についてワークショップと意見交換を行いました。



気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクトについて

ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる格差のことをいいます。

ジェンダーギャップは、社会通念・慣習などにより、「家事や子育ては女性の仕事」、「女性は庶務や経理の仕事が向いている」、「男女で賃金格差がある」、「男性は育児休暇を取りにくい」など、家庭・地域・職場などさまざまな場面で現れています。

本市では人口減少が進み、若者、特に女性の流出やUターン率の低さが大きな課題となっており、ジェンダーギャップもその要因の一つとして考えています。人口減少の緩和とともに、企業の人材獲得・確保のためには、ジェンダーギャップ解消の理解と取り組みを推進し、男性も女性も誰もが働きやすく、働きがいのある職場環境を作ることも必要です。

ジェンダーギャップ解消の取り組みについては、気仙沼商工会議所人口減少対策委員会から市へ提出された提案書にも盛り込まれており、また、本年5月に本市が策定した人口減少対策のための行動計画『～こどもと女性の瞳がやく～けせんぬま Well-being プラン 2024』の中の「雇用創出」、「就労環境の改善」の打ち手の一つに「ジェンダーギャップ解消」、「女性の自己実現」、「女性活躍」の視点・施策を取り入れていることから、このたび、官民連携でジェンダーギャップ解消の取り組みを推進していくため、「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」を発足させました。

会員企業・事業所を募集しています！

本プロジェクトの趣旨に賛同し、ジェンダーギャップ解消の理解と取り組みを共に推進していく会員企業・事業所を随時募集しています。

市内企業・事業所および働く人の Well-being の実現のため、経済界・産業界からジェンダーギャップ解消の取り組みを推進し、地域全体に機運を醸成していきたいと考えていますので、ぜひご入会ください。本プロジェクトおよび入会方法については、市公式サイトをご覧ください。

ジェンダーギャップ解消プロジェクト
入会方法はこちら ▶ [【市公式サイト】](#)





Go Ahead!
Kesennuma

気仙沼



第149回 「秋探し」

各地から紅葉の便りが聞こえ、秋が深まってきました。気仙沼ではカツオとサンマの話題でしょうか？

28年連続水揚げ量日本一が確実な生鮮カツオ、今年は夏前から戻りカツオのような脂乗りと身質が続き、当たり年となりました。資源を大切にしながらも一日も長く続いてほしいと思います。ちょっと気になるのが北海道の定置網にもカツオが乗網したとのニュース。カツオの中心気仙沼が揺るがないか気になるところです。

黒潮に乗って北上してくるカツオが好調なれば、親潮に乗って南下するサンマがその裏返しとなるのは自然の摂理？大不漁時代とも言えるここ数年のなかでは漁がまとまり、1航海の水揚げトン数も増えてはいますが、漁場が遠く北海道に水揚げが偏り、漁船の減少と合わせ、三陸の港が連日賑わうこともなく寂しいところです。相当、目が慣れてきましたが相変わらずサイズも小さく、かつてのような肩のあたりがもり上がり厚みもあり背びれの真ん中が黄色いサンマが懐かしく、忘れないうちの復活を期待したいと思います。

それにしても地元紙の一面トップにこんなに魚市場の話題が載るまちも珍しいと思いますが、もっと珍しいのは「漁業通信」。沖の各船から様子を知らせる毎日の通信です。衛星電話が可能な今でも留守宅の皆さんにとっては極めて大切な便りであり、かつて唐桑では各家庭に有線放送で流れ、子どもたちは正座をしてお父さんの船の様子を聞くようにしつけられたといえます。

「時化支え中」とあれば心配になりますが、一方で「入れず（縄を入れない）」とすれば漁が無いのではとこれも心配につながります。「操業中、皆変わりなし」、最近あまり見ませんが「船足重く操業中」「帰る日近く操業中」などは家族を元気にするメッセージです。

読者にとって理解が難しいのが「まきあみ」でよく出てくる「オカズに終わり……」。実際に乗組員のオカズになる量しか獲れなかったのではなく「大漁ではなかったがそれなり」と解してよいようです。

市民の皆さんで漁業との関わりがあまりない方、できれば移住してきた皆さんにも新聞から味わえる港町文化に興味を持っていただければと思います。パナマ運河、アイスランド沖、ケープタウンなど出てくる地名や海域を地図で探しながら紙上世界旅行を楽しんでみてはいかがでしょうか。

実は本コラムは総選挙投票前の21日に書いています。新総理は「勇気と真心をもって真実を語り、国民の納得と共感を得られる政治を实践」と語り、政権を担うことになりました。最近読んだ新聞のコラムには「指導者への『納得と共感』は様々な困難や矛盾を抱えながら、それでも実現しようとする姿勢にこそ向けられるものだ」とありました。まさにその通り！期待を持ちたいと思いますし、自分にも言い聞かせています。

気仙沼市長 菅原 茂

第29回 けせんぬま 岩井崎荒磯まつり

階上地区最大のイベントである「第29回 けせんぬま岩井崎荒磯まつり」が11月23日（土・祝）に開催されます。

階上地区のカキやタコをはじめとした新鮮な海の幸、農産物等の地場産品、市内飲食店の美味しい食べ物などの販売のほか、マグロ解体ショー、カキの炭火焼きや豚汁のおふるまい（数量限定）、景品引換券付きの祝いもちまきも実施。

ステージでは、岩井崎明戸虎舞の郷土芸能や地元アーティストなどが会場を盛り上げます！ぜひお越しください。

■日時／11月23日（土・祝）

午前9時から午後1時まで

■場所／JFみやぎわかめ流通センター隣 特設会場

■主催／けせんぬま岩井崎荒磯まつり 実行委員会

■問 けせんぬま岩井崎荒磯まつり実行委員会 事務局 ☎ 080-9555-7444



くらしの情報をお届けします！
気仙沼市 LINE 公式アカウント

市公式 LINE アカウントをご登録いただくと、トーク画面から市の情報にワンタップで簡単にアクセスできます。また、休日当番医・ごみ収集日の定時配信や、各種市政情報を受け取ることができます。ぜひ、ご登録ください。



メニュー画面をリニューアル！

友だち追加は
こちら

